

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成26年8月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は5から1に減少。「減少した」業種は7から13に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8のまま変化なし。「減少した」業種は9から12に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は3から1に減少。「悪化した」業種は7から11に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は6から2に減少。「減少した」業種は5から10に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から6に減少。「減少した」業種は11から12に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は6から3に減少。「悪化した」業種は7から13に増加。

製造業

漬物製造

【県内全域】

景況の変化は円安↓原料高の気配があり心配。

豆腐製造

【県内全域】

関東以外での集中豪雨の被害により、26年度産大豆が懸念されたか、上がり止まりになったと思われる大豆価格が、またじわじわと高騰してきている。

業界動向は、大手企業も大豆価格高騰により国産大豆から輸入大豆へ移行すると思われるが、やはり国産大豆使用を続行するらしく、大量買い付けのきらいがある。これによりまた高騰に拍車がかかるのではないだろうか。

酒類製造

【県内全域】

消費税引き上げ後の落ち込み回復せず、中元・季節商品の販売も低迷。

製材

【県内全域】

仕事量が減少している。

製材

【木更津】

8月はロシア船が一隻入港、南洋材、米材は入港なし。ロシア材の在庫は増加。南洋材・米材は減少傾向。

印刷

【県内全域】

売上は7月と比較して減少した

模様。例年夏季休暇のため、稼働日数がほぼ半月迄下がる。さらに消費税率の上昇を見込んだ駆け込み需要が3月中に上乗せされた結果、顧客の業種によっては、その反動による受注減がまだに見受けられる。8月も忙しい会社と芳しくない会社があり、まだら模様の状況。特に地方の状況が悪化し続けているようだ。

電気鍍金

【県内全域】

8月頃には幾分上向き傾向の風が吹くかと期待したが、そよ風くらいで終わってしまった。建築関係の部材の加工は少し動いているが、経済紙等の予想とは幅が大きい。今後を期待しているが、秋頃から年末頃までと修正されるだろう。

鉄工

【千葉】

各社相応に仕事の量は確保しているものの、コストアップ要因として仕入価額アップ、労務費並びに電力料金等の負担増加が顕在化しているため、収益面は依然厳しい状態。

機械部品製造

【野田】

夏季休暇の影響もあるが、受注減の状況。今後が気になる。業界動向は、全般に操業度低下の状況、例年の稼働形態と異なる流れが見

受けられる。

■機械部品製造

【流山】

景況については、一部の業で消費税増税前の受注増加の反動の影響が残り受注が減少している。燃料費についても、8月は高騰しコスト増加で影響が出ている。

■機械部品製造

【柏】

8月の稼働日16日のため、売上減。トレンドとしては、大きな変化なし。各社とも同様。

■金属製品製造

【船橋】

業種によっては、特需があるが生産コストが厳しいために収益好転には結びつかない。

■土砂採取

【県内全域】

全体的には売上高、在庫数量、取引条件、収益状況、資金繰り等前回と大きな変化はなく、全般的に低調である。地域的には良質な砂利資源が枯渇化傾向にある。

■非製造業

■総合卸売

【千葉県・東京都】

【漬物製造卸】天候異常により、葉物野菜の価格高騰。販売価格への十分な転嫁できず採算低下。

【酒類卸】

【ビール】の出荷量年々低下。

発泡酒も今年の出荷量鈍化。

■建築材料卸売

【県内全域】

短期的には、明らかに停滞して

いる。上記の落ち込みは織り込み済みであったが、下期も回復の兆しなく、契約残を食いつぶすことになる。中期的にも東京にのみ需要が偏在し千葉は全国的にも最も落ち込みが大きい。

業界動向は、セメントタンカー等輸送力は目処がたったが、肝心の需要が想定より悪いためトン当たりコストは上昇し、値上げしたものの採算は悪化している。長期コスト削減のためアスファルト(黒)からコンクリート(白)舗装への切り替えが少しずつ進行している。

■自動車解体

【県内全域】

スクラップ価格、為替ともに動きは少なく、景況感に変化はない。例年であるが、お盆休みがあり、稼働日が少なくその点からもやや低調な月。

■小売

【東金】

依然として景気が思わしくない。消費も落ち込み、買い控えなどで品物の動きもよくない。

■乾物卸売

【県内全域】

景況感は引き続き低迷。千葉県千葉県消費拡大活動予算が設けられ、9月から公立中・小学校向けに海苔の食育授業を実施。

あわせて、千葉市も海苔消費拡大に向けたPR活動を行う。

■電気機器小売

【県内全域】

消費税の影響は依然変わらず、ポディーブローのように効いていない。改善の様子はない。

■青果小売

【千葉市】

悪天候が続き、日照不足のため、野菜の相場が急上昇となり動きが止まってしまった。販売価格上昇に伴い、収益も悪化傾向となった。

■中古車仕入・販売

【県内全域】

新車販売の低迷による下取車の減少が続く、慢性的なタマ不足により相場は高く仕入に苦労する状況が続いている。お盆明けから輸出業者の積極的な落札により、更に相場が高騰・成約率も高い状態が今後も続くものと思われる。

■小売

【東金】

ファッション、買い回り品が特に今一歩。後半は涼しくなり秋物が動いた。食品関係は生鮮品の値上げあり。日用品関連は動きが鈍い。消費税の影響で買い控え。

■小売

【野田】

朝市や縁日などのイベントを開催した結果、客足は増え、活気がみられたが売上に結びつかなかった。

■建設揚重

【県内全域】

稼働状況は安定している。従業員不足が出ている。

■遊覧船

【鴨川】

台風11号の影響で海況が安定せず、運航回数が減り売上も減少した。

■一般廃棄物処理

【千葉】

8月は景気が落ち込む月だが、その通りの結果となった。8月までは前年同月比について不変またはマイナスの状況が多かったため、本年度は厳しい年となりそう。

■学習塾

【県内全域】

昨年よりそれほど受講生が増えなかった。

■建設

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は11,810百万円と前月比2,138百万円増加したものの、前年同月比では、△2,958百万円であった。年度累計しても、△10,384百万円(前年同期売上高比△20%)で推移している。

■貨物運送

【野田】

今年の夏は思ったより良くない状況になった。

■輸出入

【県内全域】

8月の売上他は前月比、前年同月比ともに増加であった。